

## 議会改革検討委員会 会議要録

- 1 開催日時 令和7年1月14日（火）  
開会 8時59分  
閉会 9時21分
- 2 開催場所 議会運営委員会室
- 3 出席した委員  
加藤 誠 一 委員長  
河井 昭 成 副委員長  
重田 剛 委員  
本田 秀 樹 委員  
谷口 典 隆 委員  
野田 武 宏 委員  
駒井 千 代 委員  
河村 浩 史 委員  
清水 ひとみ 委員  
中山 和 行 委員
- 4 事務局職員 箕浦事務局長、保田次長  
総務課 澤村参事  
議事課 一丸課長、内田参事、森課長補佐  
政策調査課 佐藤課長、川畑課長補佐、吉松主幹、辻主査、  
松木主査
- 5 議 題 (1) 若者の議会への興味と関心を深めるための取組について  
(2) 検討結果の報告について  
(3) その他
- 6 配付した資料 別添のとおり
- 7 議事の経過概要 別紙のとおり

## 議事の経過概要

開会宣告 8時59分

### 1 若者の議会への興味と関心を深めるための取組について

◎加藤誠一委員長 前回の委員会では、お示しした資料について様々な御意見をいただいたところです。

また、委員会ののちいただいた御意見もありましたので、それらの御意見を踏まえまして資料を修正しておりますので、その内容について、事務局に説明させます。

○佐藤政策調査課長 (説明)

◎加藤誠一委員長 いただいた御意見について、赤字のところを修正および追加させていただきました。議会検討委員会が出た御意見で、すぐに取り組むもの、長期的に取り組むものを整理して議長に諮問させていただき、その後、各会派代表者会議等でお諮りし、実施していくこととなります。頂いた御意見については、概ね反映できているのではないかと思います。何か御意見がありましたら御発言願います。

◎重田剛委員 資料1の7ページのその他のところで、インターンシップ等を希望する学生等を積極的に受け入れるとありますが、例えば、河井副委員長はすで受け入れておられます。受け入れる側として、具体的な効果や課題をお聞きしたいです。

◎河井副委員長 大学生を受け入れていますが、その世代の人たちがどういったことを考えているのかよく分かります。新聞記者と意見交換をする場があった時に、新聞記者からは、最近どこから情報を入手しているのかを教えていただきたいということでした。大学生は、インターネットで情報を入手しているため、新聞は読んでいない、テレビは見ていない、ということで、接する機会が少ないとのことでした。

そのように、生の声をお聞きすることができます。議会の様子をお伝えすると、興味関心を持って聞いていただいています。

課題ですが、ドットジェイピーでは、参加費を受け入れる議員も払い、学生さんも払うという不思議な仕組みです。県議会では受け入れることができるかもしれませんが、市議会や町議会で受け入れるのは難しいのではないかと考えています。

◎清水ひとみ委員 これまで議論してきたことを反映していただいているので、概ねこれでいいのですが、資料1の6ページ、県民参画委員会の活用のところで、若者に関するテーマについては、若者を対象に実施することを検討するよう呼び掛けるとありますが、別に若者に関するテーマに限定する必要はないと思います。

◎加藤誠一委員長 県民参画委員会は、それぞれの委員会の調査項目が優先されま

すが、調査時のテーマの設定の仕方だと思います。テーマを設定する時に、積極的に若者の意見が反映できるような配慮をしてくださいということですので、資料を修正させていただきます。

また、資料1の7ページにありますインターンシップですが、運営することになれば、まだまだ検討することがあります。この委員会では、受け入れるということと必要な費用については予算計上するということまでを議論しましたので、まずはそこまでを議長にお伝えしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

**◎河村浩史委員** インターンシップの受け入れですが、これはドットジェイピーに限らないということによろしいでしょうか。

**◎加藤誠一委員長** その通りです。

**◎河村浩史委員** これまでの議論もありましたので、私の方でインターンシップを受け入れることになりました。

やはりお金が発生するというところに引っかかっています。政務活動費を使うとなれば、政務に関することしか体験できません。ドットジェイピー側は、政務活動に限らず党活動も認めているので、ドットジェイピーとこちらの考えが一致しない部分があります。

そのため、お金が発生しない方が自由に体験できるのではないかと思います。大学と協定を結ぶなど、議会として受け入れる体制づくりができたらいいのではないかと思います。

**◎加藤誠一委員長** 大学生が夏休みを利用して自主的に体験したいということもありますし、例えば、滋賀県議会では、費用を伴うインターンシップを引き受けていますというPRをすることが大事だと思います。

**◎河村浩史委員** それが一番大事だと思います。インターンシップを受け入れていること自体を知らない学生も多いと思います。

**◎加藤誠一委員長** ドットジェイピーに限らず、そういうことをどう広めていくかを考えることが大事だと思います。

まだまだ御意見もあるかと思いますが、まずは取り組めることから取り組んでいき、実施状況を踏まえて柔軟に見直していくことといたしたいと考えており、現時点の本委員会の考えとしては、ただいまの資料のとおりとしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(異議なし)

**◎加藤誠一委員長** ありがとうございます。それではこの本件につきましては、こ

れで終わります。

## 2 検討結果の報告について

◎加藤誠一委員長 次に、次第2「検討結果の報告について」を議題とします。

議長から諮問があった事項の検討結果について報告するため、先ほどの内容を含めましてこれまでの協議の内容を整理して報告書案を作成しましたので、事務局から配布し説明させます。

(資料追加配布)

○佐藤政策調査課長 (説明)

◎加藤誠一委員長 タブレットはこれまでお決めいただきました内容を記載しています。若者の議会への興味と関心を深めるための取組については、先ほど出ました御意見のところを修正させていただきます。こちらで議長へ報告させていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

(異議なし)

◎加藤誠一委員長 字句等について整理を要する場合は、その整理を本職に一任されたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

(異議なし)

◎加藤誠一委員長 それでは、そのようにいたします。

なお、議長への報告は、2月3日(月)に、本職および副委員長で行うことを予定していますので、御了承願います。これがスタートであるということと、実施状況を踏まえて柔軟に見直していきたいということも申し上げたいと思います。

本日の議題については以上ですが、議会改革検討委員会の最後になりますので一言御挨拶申し上げたいと思います。副委員長、お願いします。

◎河井昭成副委員長 議会改革検討委員会は、8回にわたって議論してきましたが、皆様の真摯な御議論の結果、良い内容にまとめられたのではないかと思います。

ここがゴールではなく出発点だと思いますので、引き続き、県民の皆様に分かりやすい議論をすることで、若者の関心を高めたり、ICTを導入して適切に利用して議会の内容を変えていくことが大事ではないかと思います。

皆様の御意見を伺いながら、これからも一緒に頑張っていきたいと思います。

◎加藤誠一委員長 私からも御礼申し上げます。

今後、若者の参画をどうしていくのかという方向性を考えていく時期に来ていると思います。

まずは、興味を持ってもらうということで、滋賀県議会において何が議論されているのかを広く皆様に知ってもらうためにも、PRしていくべきだと思います。

議員自らが、普段の活動の中において、若者に興味を持ってもらう取組を行うことも大事ではないかと思います。これからも、皆様の努力、特にこの議会改革検討委員会の委員の皆様の活動が重要だと思いますので、よろしく願い申し上げまして簡単ですが最後のご挨拶とさせていただきます。

以上をもちまして、議会改革検討委員会を閉会します。

**閉会宣告**      9時21分

県政記者傍聴：1社

一般傍聴       ：0人